

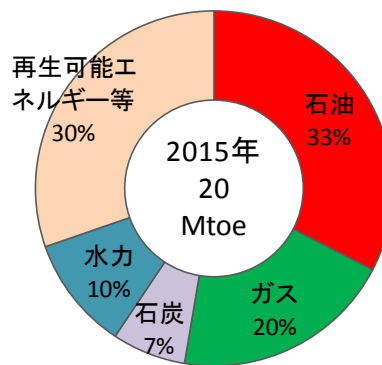
## 1-17 ニュージーランド

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 20 百万 toe (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2015年) : 4.54toe (日本の 1.32 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 81%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 31.2 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 2.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 7.01 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 74.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015年末) : 石炭 168 年

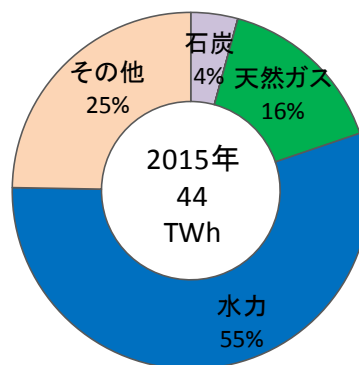
一次エネルギー源供給構成 (2015年)



Country: New Zealand

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電量構成 (2015年)



Country: New Zealand

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- ニュージーランドのエネルギー政策は、2012年7月から経済開発省、科学イノベーション省、労働省、建設・住宅省の4つの省庁が統合され発足したビジネス・イノベーション・雇用省 (Ministry of Business, Innovation and Employment: MBIE) が策定する。複数存在する担当大臣 (minister) の内、経済担当は Simon Bridges、エネルギー資源担当は Judith Collins (2016年12月)。

### (2) 基本政策

- 2011年8月、エネルギー戦略 (New Zealand Energy Strategy 2011-2021: NZES) を発表した。この中では、①資源の多様化、②環境への責任、③エネルギーの効率利用、④安価なエネルギー資源の確保、の4項目が優先目標として掲げられている。また、2050年までに温室効果ガスを対1990年比で50%削減することや、再生可能エネルギーの比率を2025年までに90%とすることなどが謳われている。

### (3) 最近の動向

- 2009年11月、温室効果ガスの排出取引制度導入法案が可決され、2010年7月から段階的に実施。エネルギー分野や工業プロセス分野などが2010年7月から、廃棄物分野などが2013年1月から、農業分野が2015年1月から制度の対象となる。
- 2012年5月、政府は財政健全化計画の一環として、国有エネルギー企業4社の保有株式の一部売却を発表。2013年4月、水力・地熱発電事業を運営する Mighty River Power 社の一部株式 (49%) の売却が実施された。引き続き、水力・風力発電事業を運営する Meridian Energy 社の株式売却が実施される予定。
- 2013年9月、ニュージーランド北部の Ngatamariki に、発電容量100MWで世界最大の地熱発電プラントが完成。イスラエル系の Ormat Technologies 社が2011年6月に Mighty River Power 社と契約を締結して建設したもので、193℃の高温地熱流体から取り出した蒸気により発電を行うバイナリー方式を採用している。
- 2015年8月、国営電力 Genesis Energy が同国最後の石炭火力発電所を2018年12月末までに閉鎖すると発表した。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- ニュージーランドは日本やオランダとの間で、国際エネルギー機関の定める備蓄基準を達成する一助として、緊急時に契約相手国から原油を購入できる契約を締結している。
- 2014年7月、安倍首相とニュージーランドの John Key 首相との首脳会談では、両国が天然資源開発や地熱発電など、相互補完的な強みを有する分野における、より強固な企業間の連携を促進することで一致。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: New Zealand

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		20 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.54 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.12 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		81 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2014年)		31.2 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2014年)		7.01 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	7 %
	石油	33 %
	天然ガス	20 %
	原子力	0 %
	水力	10 %
	再生可能エネルギー等	30 %
(8) エネルギーの輸入依存度		19 %
(9) 石油の輸入依存度		68 %
(10) 輸入原油の中東依存度		45.8 %
(11) 原油の輸入先	第1位	カタール
	第2位	ブルネイ
	第3位	マレーシア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA